



●「筆まつり」も熊野筆をアピールする重要な広報活動。



●筆の里工房内の販売所「Kumanofude.com shop」

Q 福垣内議員 「熊野筆ブランド」の確立とアピールを。

A 商工会が中心となり活動中である。
(石井企画課長)

Q 経済産業省、中小企業庁が推進するJAPANブランド育成事業の選考会で、地場産業が選ばれた。これは日本の地場産業を活性化させようとする試みであり、熊野町は「熊野筆ブランド」確立のチャンスであると考え。この際、「熊野筆」に対する、消費者の信頼をさらに確実なものにする指導を何か考えているか。

A JAPANブランド育成支援事業については、海外へも「熊野筆」の品質のよさをPRし、地場産業の活性化に結びつける取組みである。現在、商工会が中心となり、デザインの改良や試作、展示会への出展などを行っている。また、「熊野筆」としての名称販売は、製造工程等が町内及び周辺地域で生産されたもののみとしてある。

Q 南田議員 「合併すれば税金が安くなる」の真偽を問う。

A 町と市では課税方法が違うので一概には言えない。
(馬上住民課長)

民生部関連質問

Q いま国会で問題になっている国民健康保険税だが、熊野町の国民健康保険税は他市町村と比べて高額であるため、一部町民の間では、合併することにより課税額が半額になるかのように話がされている。実際にはそのようなことはないと思うが、合併問題に悪影響を及ぼしかねないので、いま一度町民に対して知らせる必要はないか。

A 課税の方法は広島市が4方式、熊野町が3方式となり、また所得割の算出方法もことなるので単純には比較できない。(左記に市と町の例を2つ掲載)海田町との比較では概ね熊野町が低く推移している状況である。

夫:給与収入300万円
妻:パート収入95万円 子ども1人
固定資産税 50,000
社会保険料 340,000
生命保険料 35,000 (円)

	熊野町 (4方式)	広島市 (3方式)	
医療	所得割	101,760	96,615
	資産割	11,100	—
	均等割	85,200	74,061
	平等割	25,700	12,955
	小計	223,700	183,600
介護	所得割	17,490	18,240
	資産割	3,300	—
	均等割	15,000	13,672
	平等割	5,300	2,722
	小計	41,000	34,600
合計	264,700	218,200	

小計において100円未満切り捨て

夫:給与収入500万円
妻:パート収入95万円 子ども1人
固定資産税 100,000
社会保険料 536,000
生命保険料 35,000 (円)

	熊野町 (4方式)	広島市 (3方式)	
医療	所得割	200,320	369,510
	資産割	22,200	—
	均等割	85,200	74,061
	平等割	25,700	12,955
	小計	333,400	456,500
介護	所得割	34,430	60,288
	資産割	6,600	—
	均等割	15,000	13,672
	平等割	5,300	2,722
	小計	61,300	76,600
合計	394,700	533,100	

小計において100円未満切り捨て